

ご関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会
社団法人 日本雑誌協会
社団法人 日本雑誌広告協会
社団法人 日本広告業協会

J-PDF 運用の制作ルール改定について

平素は雑誌広告デジタル送稿推進協議会の活動にご高配・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2008年6月より運用を開始しました JMPA カラー準拠 PDF 制作ルールですが、本年12月末に終了する制作ルール (J1・F1・F2) からの移行を踏まえ、2011年1月より Illustrator CS5 と InDesign CS5・CS4 の運用を開始する事となりました。

また、上記制作アプリケーションの運用に伴い、原稿の制作方法も大きく見直しを行います。

これは原稿制作の負荷軽減と Acrobat での検証作業の最適化、2011年に運用開始予定のオンライン送稿へ向けて、より良い運用を行うための改定となる事をご了承下さい。

現行の制作方法では、

- ① 掲載サイズに対し 100pt のマージンを付ける必要がありました。
そのため、新規原稿を作成した際の掲載サイズと PDF データが持つアートボードサイズが異なっていました。
- ② 出力物の色管理を行うために、恒常性管理用カラーパッチをマージン内に貼付する必要がありました。
- ③ 制作過程でトンボを配置し、線幅を 0.106mm から 0.05mm に変更する必要がありました。



原稿をセンタリングするための 100pt マージンや、JMPA カラーに準拠している事を証明する恒常性管理用カラーパッチ※は、運用や印刷処理の際に必要でしたが、改定後の制作方法では不要となります。

トンボも Illustrator のデフォルト値を変更する必要がありました。改定後は「PDF 設定」を用いる事で、原稿書き出し時に自動作成されます。

※送稿する原稿データと出力見本には恒常性管理用カラーパッチが不要になりますが、色見本を添付する場合には、改定後も恒常性管理用カラーパッチの貼付は必要です。恒常性管理用カラーパッチがないものは色見本になりません。

改定される制作方法では、

- ① 掲載サイズ＝アートボードサイズで運用し、100pt のマージンは不要となります。それにより、PDF データ内に適正なサイズの属性を持つ事となります。
- ② 送稿データと出力見本には、恒常性管理用カラーパッチが不要となります。但し、色見本を添付する場合は、出力する色見本に恒常性管理用カラーパッチが必要となります。
- ③ トンボは PDF データ書き出し時に自動的に配置されます。



Illustrator CS5、InDesign CS5・CS4 での運用を開始する事に伴い、正しい PDF 原稿の制作・検証を行うため、Photoshop 7 と Acrobat 7 での運用を終了致します。

また、現行の PDF 設定とプリフライトプロファイルの仕様を変更し、新しい PDF 設定「雑誌広告送稿用_201101」と 4 色原稿用の新しいプリフライトプロファイル「雑誌広告送稿用_201101C」を公開します。仕様書につきましても「JMPA カラー準拠 PDF」の改定を行います。

雑誌デジ送ナビより配布を行っている「仕様書」「PDF 制作ガイド」「PDF 設定」「プリフライトプロファイル」につきましては、2011 年 1 月 14 日より内容を切り替えますので、**詳細につきましては改定後の PDF 制作ガイドブックを参照**下さい。

暫定的に運用を行っていましたモノクロ（グレースケール）原稿の検証用には、新規のプリフライトプロファイル「雑誌広告送稿用_201101M」と「モノクロ（グレースケール）PDF」の仕様書を公開して、4 色原稿と運用を分ける事と致します。

最後になりますが、今回の制作ルールの切り替えにつきましては、2011 年 6 月末日までを移行の期間とさせていただきます。2011 年 7 月以降に入稿される原稿は、改定された制作方法のみとなります事をご了承下さい。

この度の改定は、当協議会が策定・推進しているロードマップに沿った決定である事と同時に、幅広い制作環境での制作と、より安定した原稿検証方法によってオンライン送稿へ円滑に移行する事を目的としております。ぜひ主旨をご理解いただき、ご関係の皆様にはご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。また今後も当協議会の活動に、引き続きましてのご協力をどうぞ宜しくお願い致します。